

# 学生と共に育む

## TOPIC

### おもしろプロジェクト —キミのやる気を応援します—

おもしろプロジェクトとは、学生が発見しはぐくんだ夢を形にするために、大学が資金を提供する「学生の自主的活動への資金支援制度」である。山口大学の「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」という教育理念のもと、平成8(1996)年に廣中平祐元学長が「かたちにする」ための資金提供を発案し、「おもしろプロジェクト」が誕生した。現在も学生の自主的活動のため資金提供を行っている。平成17年には文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」に採択され、学外からも注目されている。

おもしろプロジェクトの大きな特徴の一つは、企画の内容に大きな制限がないことである。学生のふとした「おもいつき」を形にしてもらいたいという思いから制限を設けていない。また、最高で100万円という非常に高額な支援金額も特徴として挙げられる。

プロジェクトには独創性やユニークさが求められ、応募されたプロジェクトのうち、学内選考により採択可否が決まる。プロジェクトの実施には教職員が関与することはほとんどなく、学生だけの力で形にしていくのが通常である。「形にしよう」と試行錯誤することで、山口大学の教育理念と学生の主体的・創造的な学びが実現できると考えているためである。「失敗してもいい・思う存分やってみる」という哲学は、スタート時から現在まで変わらず引き継がれている。



おもしろプロジェクトが誕生した年度は、予算は組まれていなかったため、廣中元学長は実施予算の大半を自身のポケットマネーから出資して、学生の活動を支援したそうだよ！

#### 〈これまでの採択事例の一部〉



##### めだかの学校

地域の行事などに参加し交流を深め、地域と大学の架け橋になることを目標としている。



##### ソーラーカープロジェクト

ソーラーカーの設計、制作を通じて個々の工学的視野を広げ、ものづくりの楽しさを知ることを目的とする。実際にレースにも参加している。



##### 図書館カフェ

総合図書館の中にカフェを作るプロジェクト。おもしろプロジェクトの支援を受けて開店準備研究をし、現在は学生が運営している。



##### Code Orange

医学部のメンバーで構成され、心肺蘇生法をはじめとしたBLS(一次救命処置)の普及を目的として講習会の開催やイベントへの参加などの活動を行っている。

## ユ ー プ ラ ス YU-PRSS 学生広報スタッフ

YU-PRSS(Yamaguchi University Public Relations Student Staff)は、山口大学広報誌「YU-INFORMATION」や山口大学のWEBサイト内の「キャンパスライフ」のページなどの作成に携わる山口大学広報学生スタッフ。平成20年から活動している。名前には、「山大生のあなた(YOU)にも、そうでないあなた(YOU)にも、プラスになる情報を届けたい」との思いが込められている。現在20名のメンバーで広報活動を行っている。



山口大学広報誌の取材で岡学長にインタビュー

## キャンパスてくてくツアー

キャンパスてくてくツアーは、学生スタッフのガイドにより、地域の方に吉田キャンパス内をツアー形式で案内するというもの。「地域の方々に山口大学をもっと知ってもらおう」「大学と地域のつながりを深める」「学生がガイドすることによって地域と学生とのつながりを深める」ことを目的として、平成24年10月から活動をスタートした。

普段見ることのない大学の施設や、季節によって変わる構内の様子を散策しながら楽しむことができる。



(上)正門のハス池を案内  
(下)ガイドの学生たち

## 山口大学図書館学生協働

学生協働は、大学図書館の利用者でもある学生の視点を取り入れ、図書館のサービスを向上させることと、学生のキャリア教育支援を目的として、総合図書館で平成18年からスタートし、現在では医学部及び工学部図書館にも拡大している。活動内容としては、カウンターでの対応や利用者サポートなど図書館の一部の業務の他、展示など学生自らが発案・企画し行うものもある。学生と職員と一緒に業務に取り組むことで、相互に刺激し合いながら成長していくことを目指している。



総合カウンターでの利用者サポート



新入生に図書館を案内